レンジフード取付説明書

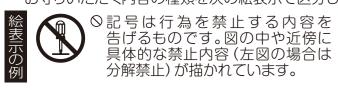
取扱説明書・取付説明書は必ずご使用になるお客様にお渡しください。

● 取り付けの前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けを行ってください。 ● ここに示した注意事項は、製品を安全に正しく取り付け、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止 するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り 扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。 いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

・ 注意: 人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。 ○記号は行為を禁止する内容を



●記号は行為を強制したり指示する内容を 告げるものです。図の中に具体的な指示内容 (左図の場合は電源プラグをコンセント から抜いてください) が描かれています。

●交流100V以外では使

火災・感電の原因になり

● 配線工事は電気設備技術基準や内線規程

に従って法的有資格者が工事を行うこと

誤った配線工事は感電や火災の原因は

メタルラス張り、ワイヤラス張り、また

は金属板張りの木造の造営物に金属製

ダクトが貫通する場合、金属製ダクトと

メタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気

漏電した場合、発火したり感電するおそれ

●本体とダクトは、可燃物との間を10cm

火災などの原因になります

●ファンや部品の取り付

落下によりけがをす

取り扱いの際は、必ず厚

鋼板の切り口や角でけが

手の手袋をすること

るおそれがあります

けは確実に行うこと

以上離すか、不燃材料を使用して可燃

詳しくは、所轄の消防署に問い合わせて

●レンジフードの壁への埋め込みはしな

的に接触しないよう取り付けること

100_V

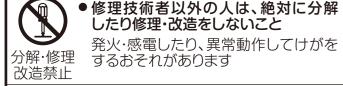
用しないこと

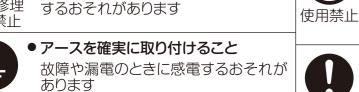
ます

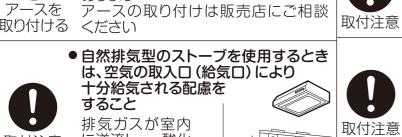
なります

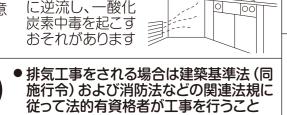
物を覆うこと

告

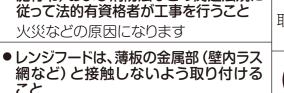


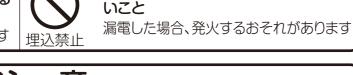


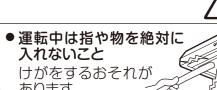


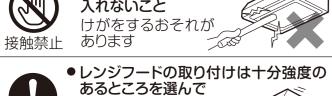


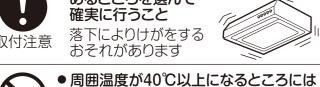
取付注意 漏電した場合、発火するおそれがあります



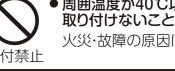


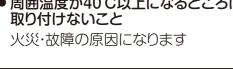




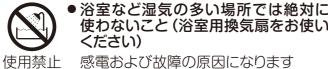












使わないこと(浴室用換気扇をお使い

だるま穴部

整流板を手前にずらす

ゆるめる

感電および故障の原因になります

取り付け上のお願い

● 下記は「建設工事」に区分され、関連する法令、規定に従って法的有資格者が行う必要があります。

大工工事(設置のための下地工事等) 配線工事(コンセントの設置、コンセント・コネクター利用以外の配線接続等)

管工事(ダクト配管及びレンジフードからのダクト接続等) 流通業者(販売店)を通して組立・設置する場合は、「建設工事」とそれ以外の「組立・設置」を 区別して行ってください。

● 調理機器の幅はレンジフードの幅以内のもの をご使用ください。 調理機器はレンジフードの前面より手前にはみ 出して設置しないでください。排気効率が

●電源は専用コンセントおよびブレーカーを 設けてください。 火災・故障の原因になります。

● 屋外壁面の排気出口に取り付けるベントキャップ またはパイプフードの通気抵抗は400m3/h時 50Pa以下のものをご使用ください。 防虫網付きのものは目詰まりして排気性能が 低下する場合がありますので使用しないで ください。

●ダクトの不燃処理について

ダクトを50mm以上の不燃材料、または 20mm以上の国土交通大臣不燃認定品の

不燃材料で被覆してください。 • 施工要領は、各メーカーの「標準施工要領技術 指導書」・「検査要領書」に従ってください。

真上に取り付けて ください。 なお、製品取付高さ は、製品の下端が調 理機器の真上80cm 以上になるように してください。



●寒い地域ではダクトが結露し本体内に結露水 が流れる場合がありますので断熱材を巻くなど の対応をしてください。

●部屋の中央で料理される場合は、油煙が捕集 しきれませんので、お台所の全体換気のために、 他の換気扇と併用していただければ、より すぐれた換気ができます。

|●製品仕様を改造してのご使用は絶対におやめ

●非常に長いダクトや細いダクト、あるいは極端 に屈曲したダクトは排気効果をいちじるしく 低下させたり、騒音が大きくなりますので使用 しないでください。

●レンジフード取付面の補強部に、取付用座付 ねじが確実に届くことを確認してください。 本体の取付用座付ねじは、45mmの長さのもの が同梱されておりますが、壁下地に石膏ボード 等が貼られている場合は、石膏ボード等の 厚さを確認し、取付用座付ねじが確実に補強 部に届くことを確認してください。 また、レンジフード本体取付面には必ず不燃材 を使用してください。

● レンジフード下部には、湯沸器を絶対に取り付け ないでください。 また、横方向50cm以上 離して取り付けてくださ い。湯沸器の真上は高熱 になるため故障の原因

●建物が密閉されている 場合は必ず、約400㎡程 度の空気取入口を設け てください。

になります。

(BL部品保険制度について)

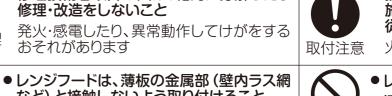
● 当社の定める施工要領を逸脱しない取付工事に 瑕疵が生じ、施工者が無償修理や損害賠償を 行った場合、BLマークの証紙が貼り付けされて いる部品については、一般財団法人ベターリビング のBL保険制度により、保険金が支給されます。

■ BL保険制度や保険金の詳細については、一般 財団法人ベターリビングのホームページ (http://www.cbl.or.jp/)をご覧いただくか、 一般財団法人ベターリビング 保険・表示課 (TEL 03-5211-0559) にお問い合わせ下さい。

取り付け前の調査と準備

● 修理技術者以外の人は、絶対に分解したり

修理・改造をしないこと 発火・感電したり、異常動作してけがをする おそれがあります



● 排気工事をされる場合は建築基準法 (同 施行令) および消防法などの関連法規に 従って法的有資格者が工事を行うこと 火災などの原因になります

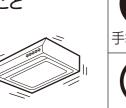
●レンジフードの壁への埋め込みはしないこと 漏電した場合、発火するおそれがあります 埋込禁止

●本体とダクトは、可燃物との間を10cm以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと 火災などの原因になります 詳しくは、所轄の消防署に問い合わせてください

●レンジフードの取り付けは十分強度のある ところを選んで確実に行うこと 落下により、けがをする おそれがあります

など)と接触しないよう取り付けること

漏電した場合、発火するおそれがあります



●取り扱いの際は、必ず厚手 の手袋をすること 鋼板の切り口や角でけが 手袋をする をするおそれがあります

> ● 周囲温度が40℃以上になるところには取り 付けないこと

火災·故障の原因になります 取付禁止 1. 取り付け面の強度確認

……製品を支える強さが必要です。

600幅 | 製品質量 13.0kg 750幅|製品質量 14.5kg 900幅 | 製品質量 16.0kg

■板張りの場合 ● 板厚が20mm未満の場合には壁に補強板を埋め込み補強板にレンジフードを取り付けてください。 ● 板厚が20mm以上の場合は補強板の必要はありません。

■コンクリート、タイル壁の場合

● あらかじめ補強板を壁に埋め込んでおくか、カールプラグ等を使用し固定してください。

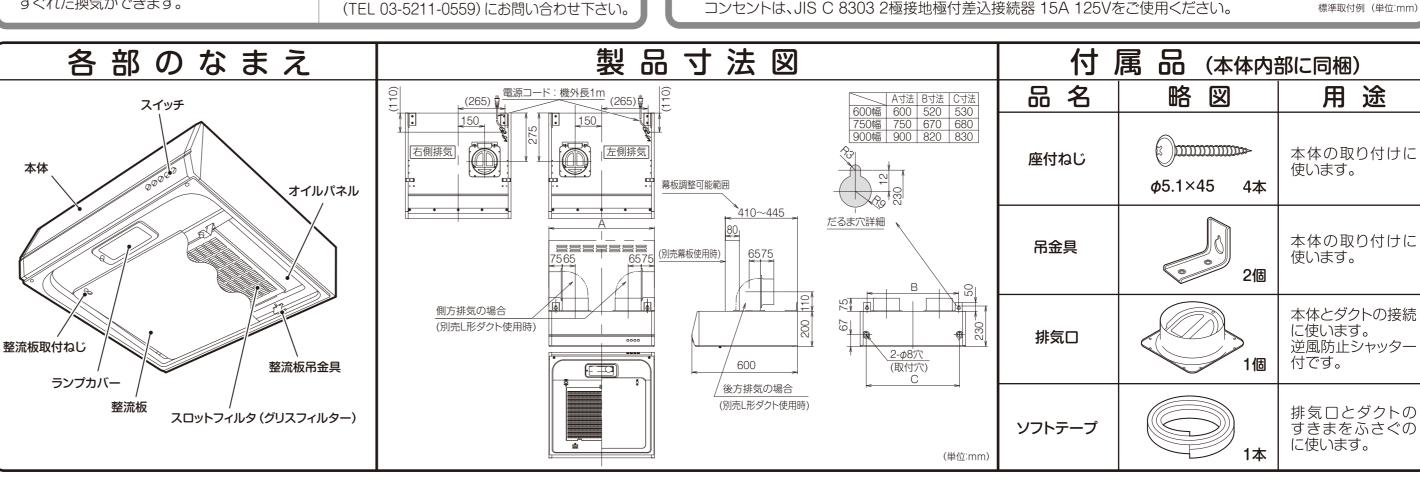
◆柱などに固定した補強板をあらかじめ壁に埋め込んでください。

2. 別売部品の準備 排気工事に応じた別売部品の準備が事前に必要です。

3. 標準取付寸法 本製品の標準取付寸法は調理機器の上面から製品の下端まで80cmです。

4. 電源コンセント・ブレーカー 電源コンセント・ブレーカーは専用のものを設置してください。(交流・単相 100V)

調理機器 ※火災予防条例では、グリスフィルターの下端が調理機器の真上80cm以上必要となっています。



取付注意

取付注意

取付注意



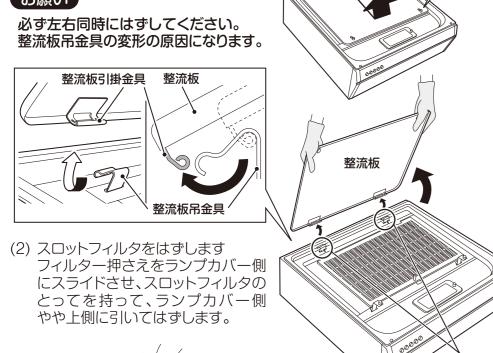
● 取り扱いの際は、必ず厚手の手袋をすること 鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります

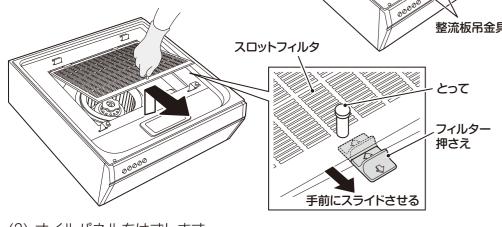
お願い
取り付け作業の際はキズ・破損のないように十分注意してください。

だるま穴

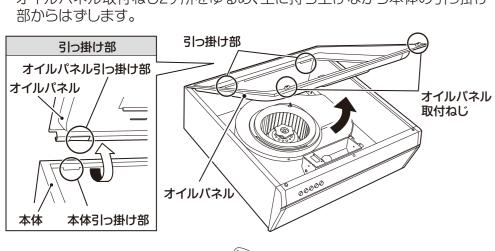
1.本体の準備 (1) 整流板をはずします

整流板を固定している左右の整流 板取付ねじをゆるめます。 整流板取付ねじがだるま穴の中心 位置までくるよう整流板を手前に ずらし、開きながら整流板吊金具から はずします。





(3) オイルパネルをはずします オイルパネル取付ねじ2ヶ所をゆるめ、上に持ち上げながら本体の引っ掛け



2.排気方向の決定

● メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営 物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイ ヤラス、金属板とが電気的に接触しないよう取り付けること 漏電した場合、発火したり感電するおそれがあります

● 排気工事をされる場合は建築基準法 (同施行令) および消防

法などの関連法規に従って法的有資格者が工事を行うこと



火災などの原因になります

取付注意

(4) 付属品を取り出します

(5) 右上項の付属品一覧により

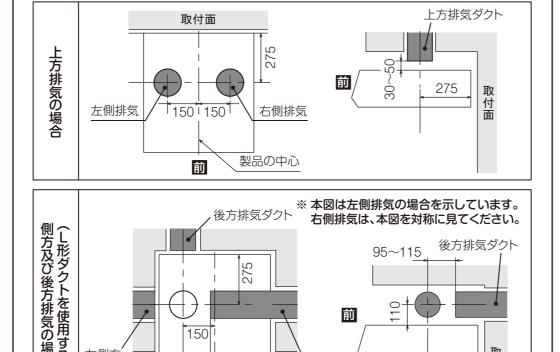
不足がないか確認します。

●本体とダクトは、可燃物との間を10cm以上離すか、不燃材料 を使用して可燃物を覆うこと

火災などの原因になります 詳しくは、所轄の消防署に問い合わせてください

(1) 製品寸法図を参照し、壁穴を開けます。

(2) ϕ 150のステンレスダクト、またはスパイラルダクトを下図のようにレンジ フードの上面に突き出すようにセットして、周囲を仕上げます。 (コンクリート、タイル、土壁の場合)



排気ダクト

275

3.排気用部品の準備

、製品の中心

■上方排気の場合

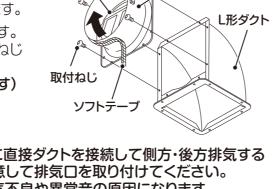
排気ダクト

95~115 95~115

前

シャッターの開き方向 (1) ソフトテープを排気口に貼り付けます。 (2) 排気口は本体上面の排気 シャッタ・ 口引掛金具に差し込み、 取付ねじ 取付ねじ2本で取り付け (取付ねじはあらかじめ 本体の排気口取付部に 取り付けてあります) . 排気口引掛金具

■側方および後方排気の場合 (別売部品のL形ダクトを使用する場合) (1) ソフトテープを排気口に貼り付けます。 (2) L形ダクトに排気口を取り付けます。 排気口はL形ダクトに付属の取付ねじ 4本で取り付けます。 (本体への取り付けは後で行います)

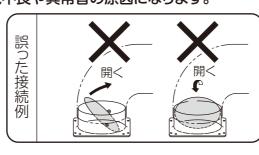


シャッター

【お願い】

L形ダクトを使用しないで、排気口に直接ダクトを接続して側方・後方排気する 場合は、シャッターの開く向きに注意して排気口を取り付けてください。 下図の「誤った接続例」の場合、排気不良や異常音の原因になります。

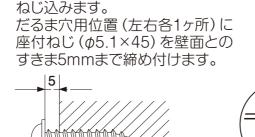


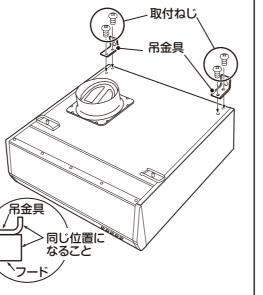


4.本体の取り付け

(1) 吊金具2個を取り付けます。 本体上面に2本ずつあらかじめ取り 付けられているねじ4本を使い、 吊金具2個を本体上面に取り付け ます。

(2) だるま穴用座付ねじ2本を壁面に



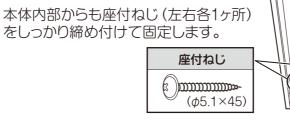


(3) 本体を取り付けます。 (2) で取り付けただるま穴用座付ねじに本体を引っ掛けたあと、しっかり 締め付けます。 本体

上方排気の場合は、ダクトに排気口を差し 込みながらフードを取り付けてください。 (4) 本体内部からも座付ねじ(左右各1ヶ所)

ドリリングタッピンねじなどで

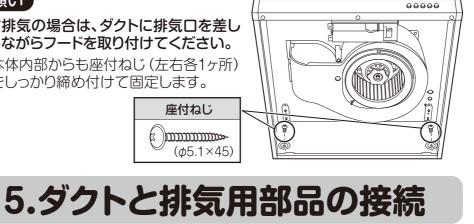
排気口を固定する場合は、



45mm以上

(28mm)

設置面



締め付ける

ドリリングタッピンねじ

(25mm以下のねじを

排気口

/引掛金具

|ご使用ください)

使用範囲

シャッターにねじがあたら 15mm以上 ないように図のドリリング タッピンねじ使用範囲内に ╱排気□ 固定してください。 ■上方排気の場合 アルミテープ 風漏れ防止のテーピング(アルミテープ) を行います。

排気口設置面の漏風確認のお願い 排気口とダクトを接続する際に、無理に ダクトにレンジフードの排気口を接続 しようとすると、排気口と排気口の設置 面(本体天面等)が変形し、排気漏れが 発生してしまう場合があります。 排気漏れ確認の為に、ダクトと接続後 は試運転(強運転)を行ってください。 漏風する場合は、排気口と設置面の周り をアルミテープ等(現地手配)で漏風防止

(取付ねじはあらかじめ本体のL形

ダクト取付部に取り付けてあります)

(2) 風漏れ防止のテーピング (アルミ

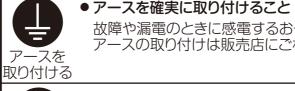
テープ) を行います。

アルミテープ等で 処置を行ってください。 排気口の四方をテープ貼り ■側方および後方排気の場合 (別売部品のL形ダクトを使用する場合) (1) L形ダクトを本体上部の排気口引掛 排気口 ダクト 金具に差し込みながら、排気口を ダクトに挿入し、取付ねじ2本で取り 付けます。

取付ねじ

6.電気配線

● 修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造をしない 発火·感電したり、異常動作してけがをするおそれがあります 分解·修理 改造禁止



故障や漏電のときに感電するおそれがあります アースの取り付けは販売店にご相談ください

● 交流100V以外では使用しないこと

火災・感電の原因になります

(1) 必ずアース (D種接地工事) をしてください。



● 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格 者が工事を行うこと 誤った配線工事は感電や火災の原因になります

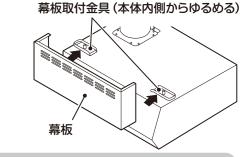
●コンセントは、電源コードの長さを考慮して設置してください。

(2) 分電盤のブレーカーを 「切」 にし、電源プラグをコンセントに差し込みます。 お願い ●電源は専用のコンセント 2極接地極付差込接続器15A 125V およびブレーカーを設けてください。

7.幕板を取り付ける場合

をゆるめ、幕板を前から幕板取付金具 と本体の間に差し込みます。

(2) 幕板の取付位置を決め、幕板取付金具 のねじを締め付けて固定します。

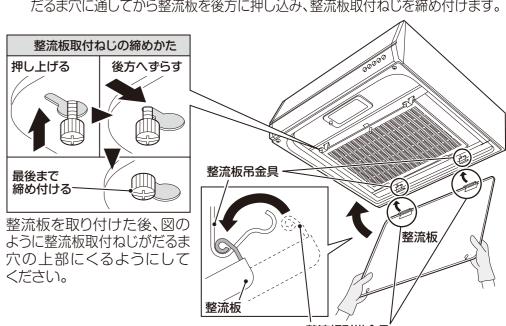


8.組み立て

(1) オイルパネルを取り付けます オイルパネル後方の引っ掛け部を 本体に引っ掛けてからオイルパネル を閉じ、手で支えながらオイルパネル 取付ねじ2ヶ所を締め付けます。 オイルパネル取付ねじ 引つ掛け部 本体引っ掛け部 オイルパネル オイルパネル (2) スロットフィルタを取り付けます 引つ掛け部 オイルパネルの溝部分にスロット フィルタを差し込み、フィルター押さえ を奥側にスライドさせて固定します。

奥側にスライドさせる フィルター押さえ スロットフィルタ

整流板引掛金具を整流板吊金具に引っ掛け、整流板取付ねじを整流板の だるま穴に通してから整流板を後方に押し込み、整流板取付ねじを締め付けます。



整流板引掛金具 お願い
整流板を固定している整流板取付ねじは電動工具で締め付けないで ください。ねじが破損する恐れがあります。

9.試運転

■分電盤のブレーカーを「入」にし、スイッチを操作して運転状態を確認してください。 スイッチの操作と運転状態については取扱説明書をご覧ください。

■運転時、各速調の排気が正しく行われていることを確認してください。 ■異常な騒音、振動がないことを確認してください。

■屋外の排気出口から排気されていることを確認してください。 ■取り付けまたは各種工事にて発生した不具合で修理を依頼されますと全て有料 となりますのでご注意ください。

10.お客様への説明

■取扱説明書によって機器の取り扱いを説明してください。 ■取扱説明書と共に、この取付説明書を必ずお客様にお渡しください。

富士工業株式会社

〒252-0206 相模原市中央区淵野辺2丁目1番9号 TEL 042 (768) 3754 (営業部)